

なかつか 亮

9月からモデル地域でゴミ分別が変更

プラスチック製容器包装(一部が

「不燃ごみ→可燃ごみ」に

可燃ごみ ・汚れが落ちにくいプラスチック製容器包装 ・その他のプラスチック 	不燃ごみ→可燃ごみへと変わる品目 ゴム製品類 ゴム手袋・ゴムホース ゴムボールほか 
皮革製品類 革靴・バック・ランドセルほか 	従来からの可燃ごみ 再利用できない紙、紙おむつ 生ごみ 少量の木くず、草、生花 

可燃ごみへと変わる品目です。
(品川区配布資料より抜粋)

今年9月実施
 昨年7月から西五反田と荏原周辺で先行実施されたモデル地域。今年9月からは、西大井1〜3丁目や大井、東五反田、

品川区は可燃ごみに不燃ごみを混ぜて収集するモデル地域を9月から拡大。新たに西大井1〜3丁目など14町会をモデル地域に加えしました。「混ぜればごみ、分ければ資源」と、ごみ減量への取り組みが大きく後退。さらに、地球温暖化防止のCO2削減計画とも逆行するものです。地域からも「いったいどうなってるの」との声もあがっています。



9月からの変更のお知らせ。
西大井1丁目

南品川、中延、西中延、豊町の一部で行なわれま

す。不燃ごみから可燃ごみになる品目は、汚れが落ちにくいプラスチック製容器包装(マヨネーズや中華ソース容器等)やバケツ、歯ブラシ等プラスチック製品。ゴム製品類(ゴム手袋、ゴムホース等)や革製品類(革靴、バック、ランドセル等)です。「上参照」

ごみ減量はどこへ?

7年前、品川区は「資源循環型都市しながら」を掲げ、ごみ発生抑制、再利用の使用拡大、資源回収の充実を掲げ、アルミ缶やペットボトル、牛乳パックなど9品目の資源回収を実施しました。各家庭では少しでもごみ減らし、環境改善に協力しようとして、台所で「不燃ごみ」「可燃ごみ」の仕分けを取り組みました。それが「不燃ごみ」が「可燃ごみ」とは…。

私はごみ減量へ向けた長年の取り組みに足を引く張るものだと思います。

地球温暖化防止のCO2削減計画防止に逆行

CO2削減計画に逆行

「地球温暖化加速」今年の夏の暑さを背景に、テレビや新聞で地球温暖化問題が大きく取り上げられ、CO2（二酸化炭素）削減が地球規模の最重要課題になっています。

今こそ石油製品や石炭など化石燃料の大量消費を反省し、資源循環型社会を作るときです。

日本は京都議定書でCO2 6%削減を確認しましたが、実際は削減どころが増えていくのが実態。そんな中、品川区は石油製品であるプラスチックの焼却処分とは、CO2削減計画の取り組みに逆行することは明らかです。

本気でごみ減量を

現在のような、消費者と行政中心のリサイクルス

テムだけでは、ごみの総排出量を抑制する事には、おのずと限界があります。本格的なごみ減量には、ごみの総排出量の抑制が必要。リデュースの確立や、繰り返し使えるリターナブル容器の普及には企業の協力が欠かせません。

ごみ減量に向けた企業責任を明確にすることこそ大切だと思えます。



一歩前進「資源回収」

今回の変更について、プラスチックマークがついている「卵のケース」や「洗ったヤクルト容器」、蛍光灯などが新たに資源回収品目に加わったことは一歩前進です。ごみ問題や環境問題

は関心の高い問題。今回のごみ分別の変更、皆様はどう思われますか。ご意見お聞かせ下さい。なかつか亮

資源 資源回収ステーションにお出してください。
品目別に、中身のみえる袋に入れるか、ひもでくくってお出してください。

新たに「プラスチック製容器包装」と「蛍光灯」を追加します。

汚れていないプラスチック製容器包装 プラスチックマークのある品目が対象となります。 トレイ、ボトル、ケース（卵など）、カップ、袋など	蛍光灯 買った時の箱や筒に入れ、割れないように横にして出してください
---	--

※軽くすすいで水気を切ってください。 ※ペットボトルとは別に、中身のみえる袋で出してください。

資源回収の品目が拡大されました。

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

9月14日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231